

# ひろしまの遺跡

第102号



皇塩遺跡1・2号炭窯跡全景(上)、1号炭窯跡煙出し穴(右)

## 皇塩遺跡(庄原市水越町)

調査期間 平成20年4月21日～7月11日

皇塩遺跡は、西城川支流の小河川に東から西へ延びる低丘陵の尾根上に位置しています。

皇塩遺跡では、横口付炭窯跡を2基検出しました。ともに窯を等高線に対して斜めに築き、西側を焚口に、東側を煙道としています。窯の西側は急傾斜となっており、斜面の下から吹き上げる風を利用して燃焼効率を高めたものと思われます。窯の南側に横口を付け、横口の前面には前庭部と呼ばれる平坦面を造成しています。1号窯跡は2号窯跡の大半を壊して造られていました。2号窯跡はわずかに焚口と煙道付近が残っていました。

1号窯跡の燃焼部の長さは約8m、床面の幅は

約0.8mです。前庭部の大きさは長さ8.4m、最大幅3.8mです。横口は8か所ありました。

広島県内での横口付炭窯跡の発掘例は、植松窯跡(三次市三良坂町)など4例があります。いずれも一部が壊されていましたが、本遺跡では焚口から煙出し穴までよく残っていました。

炭窯が造られたのは、類例や出土遺物から7世紀を中心とした時期と考えられます。皇塩遺跡から南東60mには同時期に営まれたと思われる集落跡の馬ヶ段遺跡があり、集落と生業を考えるうえで興味深い例です。(地図①)



# 発掘調査略報

平成19・20年度に調査した遺跡のうち、6か所の古墳を報告します。

## みやもと みよししむこうえたまち 宮の本第24号古墳(三次市向江田町)

調査期間 平成19年4月16日～12月21日

宮の本古墳群は馬洗川北岸に位置し、東西に延びる丘陵上に立地しています。標高は239～248m、水田面からの比高は約50mです。19年度は第20～26・31・32号古墳の9基の調査を行いました。

第24号古墳は径30m、高さ4mの円墳で、墳丘斜面の上位2/3付近までほぼ全面的に葺石が施され、その下端の平坦面には円筒埴輪列がみられます。また、墳丘裾には部分的に列石がみられます。2段築成の墳頂部には、長さ3.5mの竪穴式石室を挟んで、北には長さ3.2mの大型の箱式石棺、南には長さ1.8m程度の箱式石棺の3基の埋葬施設が南北に並列して築かれています。前者は礫床の中央が凹み、割竹形木棺の使用がうかがえます。円筒埴輪列は、平坦面の外縁寄りにほぼ等間隔に立てられ、墳丘西側には1か所2列に樹立されたところもあります。

墳丘からは90本以上の円筒埴輪と土師器・高杯など、埋葬施設の箱式石棺からは小型鏡1点や鉄

鏃状の鉄器片数点が出土しました。

今回調査を行った9基の古墳は、その位置関係や埋葬施設の形態や構造、副葬内容の類似性などから強いきずなをもつ同一の集団によって築かれたと考えられます。その築造時期は、第24号古墳が4世紀末～5世紀初頭頃、そのほかの8基の古墳は5世紀～7世紀後半頃に築造された可能性が強いと考えられます。(地図②)



宮の本第24号古墳全景

## しもやいみなみ みよししきさちょう 下矢井南第3～5号古墳(三次市吉舎町) 調査期間 平成19年10月9日～12月21日

下矢井南第3～5号古墳は、馬洗川の支流矢井川西岸に位置する丘陵の尾根上にあります。

第3号古墳は円墳で直径約9m、高さは約1.5mです。周溝が南側を半周しています。埋葬施設は破壊を受けており、確認できませんでした。周溝から鉄斧が1点出しました。第4号古墳は円墳で直径約18m、高さは2～3mです。埋葬施設を5基確認しました。いずれも棺の構造は割竹形木棺であった可能性が高いと思われます。墳頂部から筒形石製品つづがたせきせいひんが出土したほか、各埋葬施設から鉄製の刀子・剣・鎌・斧・刀のほか、たてくし堅櫛が出土しました。第5号古墳は円墳で直径約7.5～9.5m、高さは約0.5mです。封土の多くは流失したものと考えられ、埋葬施設は確認できませんでした。

立地や出土遺物から、第4号古墳が最も古く、

4世紀末から5世紀初頭に築造されたものと考えられます。第3号古墳と第5号古墳は6世紀頃の可能性が考えられます。(地図③)



下矢井南第4号古墳調査状況

下矢井南第4号古墳  
出土筒形石製品 ▶



## まがり 曲第2号古墳(庄原市口和町)

調査期間 平成19年7月2日～9月21日

古墳は、湯木川西側の丘陵上に位置し、標高約300m、周囲の水田との比高は約80mです。

古墳は、直径約13mの円墳で、高さ約1.5m、東側を除き幅1～3m、深さ約1mの溝が巡っています。埋葬施設は土坑で、長さ3.5m、幅0.8m、土坑内から幅約0.4mの木棺の痕跡が確認されました。埋葬施設から短甲(鉄製よろい・三角板横矧板併用鋸留短甲)・刀・短刀が出土しました。短甲は木棺の上に置かれ、刀・短刀は木棺内の副葬品と考えられます。また、西側の周溝の中から須恵器・土師器がまともに出て出土し、その下から斧などの鉄器も出土しました。

古墳の周溝内から出土した土器から5世紀末頃に築造されたと思われます。(地図④)

なお、短甲は平成20年度に保存処理・修復作業を行いました。(8頁参照)



## ちゃうす 茶臼古墳(三次市甲奴町)

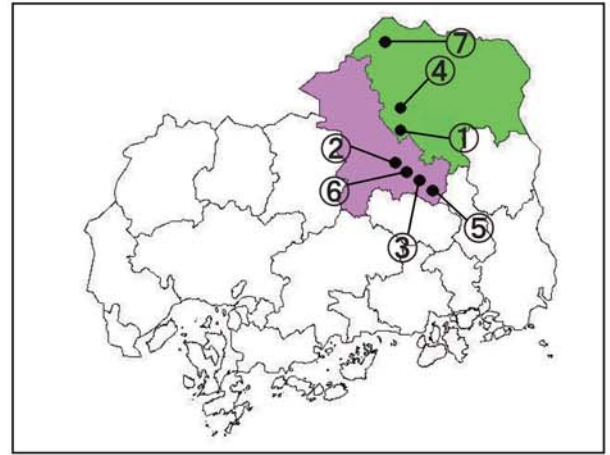
調査期間 平成20年7月7日～8月8日

古墳は、宇賀川の西側の丘陵上に位置し、標高414m、周囲の水田との比高は約40mです。

墳丘の北側と南側に尾根筋に直交する溝が掘られているため、古墳の平面形は長方形に見えます。墳丘の規模は南北12m、東西10m、高さ1.3mで、埋葬施設は箱式石棺3基です。中央の箱式石棺の内法は長さ1.7m、幅0.35～0.6mで、蓋石に4枚の石材を用い、両側石に各4枚、両小口に各1枚の石材を縦長に使用しています。石材の間を粘土で丁寧に目張りし、蓋石の上面にも粘土が塗られていました。中からほぼ一体分の人骨と15点のガラス小玉が出土しています。

盛土の状況から、3基の埋葬施設を造ってから盛土をしたと考えられます。

古墳が造られたのは、墳丘や埋葬施設の形態、出土遺物などから5世紀中頃と考えられます。(地図⑤)



曲第2号古墳全景(上)  
周溝内土器出土状況(下)



茶臼古墳埋葬施設全景



ながはたやま

みよししきさちょう

## 長畑山古墳(三次市吉舎町)

調査期間 平成20年9月24日～12月26日

古墳は、馬洗川の南側の丘陵上に位置し、標高243m、東側の水田との比高は16mです。

古墳の形は南北約12m、東西約10.5mの楕円形で、斜面上方にあたる西側は長さ10m、最大幅2.5mの溝によって墓域を区画しています。高さは南側の墳裾から2mです。埋葬施設である横穴式石室は南に開口しており、規模は現状で全長6m、奥壁幅0.8m、開口部幅1.2mです。

石室内から土師器や須恵器、鉄鏃、玉、耳環などが、周溝や墳丘から土師器や須恵器が出土しました。石室内の遺物の出土状態から2回ないし3回以上の埋葬が行われたと考えられます。

また、墳丘の旧地表面の3か所では須恵器等が据えられた状態でみつき、何らかの祭祀が行われたと思われま。

古墳が造られたのは6世紀末から7世紀中頃と考えられます。(地図⑥)



長畑山古墳石室調査状況



長畑山古墳墳丘内遺物出土状況



おかひがし

## 岡東第1～7号古墳

しょうばらしたかのちょう  
(庄原市高野町)

調査期間 平成20年5月7日～9月26日

岡東古墳群は、標高629mの山塊の南西に延びる尾根上に位置しており、第1号古墳が最高所にあり、第2～5・7号古墳は第1号古墳の西側の尾根上にほぼ等間隔に配されています。また、第6号古墳は第1号古墳の南側の斜面にあります。周囲の水田との比高は約50mです。

第1号古墳は直径16m、高さ3mの円墳で、東西に尾根を分断するように溝があります。東側の溝は幅2.7m、深さ1.5mです。埋葬施設は2基あり、うち1基は割竹型木棺を置いたものです。

第2～6号古墳は、直径7～10m、高さ0.5～1.5mの円墳で、埋葬施設は土坑です。第7号古墳は周溝の一部を確認しました。

第2・4～6号古墳から土師器、第3・5・6号古墳から鉄器が出土しました。

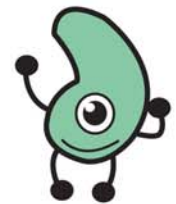
これらの古墳が造られたのは比較的短期間のうちで、5世紀代と考えられます。



岡東第1号古墳全景



岡東第1号古墳東側溝





## 平成19年度発掘調査一覧



番号	遺跡名	所在地	内容
1	家ノ城跡(第5次)	尾道市	中世の城跡
2	宮の本第20~26・31・32号古墳	三次市	4世紀末~7世紀前半の古墳・埴輪列
3	片野中山第9~12号古墳	三次市	5世紀末~6世紀前半の古墳
4	右谷遺跡	三次市	7世紀前半~8世紀前半の集落跡
5	若見迫遺跡	三次市	9世紀の集落跡・鉛のインゴット出土
6	瀬戸越南古墳	三次市	5世紀後半~6世紀頃の古墳
7	上陣遺跡	三次市	6世紀前半頃の土坑
8	大平遺跡	三次市	8~9世紀の集落跡・6世紀後半頃の古墳
9	和知白鳥遺跡(第2次)	三次市	旧石器時代の包含地
10	段遺跡(第2次)	三次市	旧石器時代の包含地
11	曲第2~5号古墳	庄原市	5世紀末の古墳。三角板横剝板併用鋳留短甲出土
12	稻干場第2~4・9号古墳	庄原市	6世紀前半頃の古墳
13	下矢井南第3~5号古墳	三次市	4世紀末~6世紀の古墳。筒形石製品出土
14	城平山城跡	呉市	中世~近世の城跡。臨時的な施設



## 平成20年度発掘調査一覧



番号	遺跡名	所在地	内容
1	頼藤城跡	三次市	中世の城跡
2	茶臼古墳	三次市	5世紀中頃の古墳
3	宮の本遺跡	三次市	7世紀~8世紀の集落跡
4	宮の本第11号古墳	三次市	6世紀末~7世紀始めの古墳
5	三重1号遺跡	三次市	7世紀後半の集落跡
6	長畑山古墳	三次市	6世紀末~7世紀中頃の古墳
7	殿平古墳	三次市	5世紀頃の古墳
8	岡東第1~6号古墳	庄原市	5世紀代の古墳
9	岡1号遺跡(岡遺跡)	庄原市	落とし穴(時期不明)
10	只野原1号遺跡(只野原遺跡)	庄原市	古墳時代の石棺
11	番久遺跡	庄原市	縄文時代の落とし穴・古墳時代前半期の集落跡
12	原畑遺跡	庄原市	古墳時代前半期の集落跡・剣形石製模造品出土
13	向泉川平1号遺跡	庄原市	旧石器時代の包含地
14	向泉川平2号遺跡	庄原市	弥生時代後期後半~古墳時代の集落跡
15	川平第1号古墳	庄原市	6世紀後半頃の古墳
16	常定川平1号遺跡	庄原市	6世紀中頃の集落跡
17	常定川平2号遺跡	庄原市	落とし穴・土坑墓(時期不明)
18	馬ヶ段遺跡	庄原市	7世紀頃の集落跡、横穴墓
19	皇塩遺跡	庄原市	7世紀頃の横口付炭窯跡
20	廿日市町屋跡	廿日市市	近世の集落跡
21	御領遺跡	福山市	縄文時代~古墳時代の集落跡

9・10遺跡名の( )内は調査時の遺跡名です

# 平成19・20年度の行事

1

- 名称** 広島県内埋蔵文化財4法人共同企画  
平成19年度 新春放談  
飛鳥美人なに想ふ～ひろしまの装・飾・美をさぐる～
- 主催** (財)広島県教育事業団, (財)広島市文化財団,  
(財)東広島市教育文化振興事業団, (財)安芸高田市地域振興事業団
- 日時** 平成20年1月12日(土) 11:00～17:00
- 会場** アステールプラザ 中ホール
- 内容** 基調講演「ニューファッションへの道－高松塚古墳壁画の服飾を中心として－」  
学習院女子大学教授 増田美子氏  
シンポジウム「ひろしまの装・飾・美をさぐる」  
コーディネーター 広島大学名誉教授 河瀬正利氏  
パネラー 増田美子氏, 4法人事例発表者  
展示 事例報告に関連した出土遺物や写真パネル



増田美子氏講演

2

- 名称** 平成20年度 ひろしまの遺跡を語る  
ここまでわかった広島古墳時代
- 主催** (財)広島県教育事業団
- 日時** 平成21年1月10日(土) 13:00～16:40
- 会場** 広島県立生涯学習センター 大研修室
- 内容** 講演「最近の調査成果からみた広島県の古墳」  
広島大学大学院文学研究科教授 古瀬清秀氏  
シンポジウム「ここまでわかった広島古墳時代」  
コーディネーター 古瀬清秀氏  
パネラー 調査室報告者  
展示 報告に関連した出土遺物や写真パネル



シンポジウム風景(20年度)

3

- 名称** 中国横断自動車道尾道松江線建設事業に係る  
備北地域埋蔵文化財発掘調査報告会
- 主催** (財)広島県教育事業団・広島県立歴史民俗資料館
- 日時** 平成20年3月1日(土) 13:00～16:30
- 会場** 広島県立歴史民俗資料館 研修室
- 内容** 報告・展示



展示風景(19年度)

4

- 名称** 中国横断自動車道尾道松江線建設事業に係る  
備北地域埋蔵文化財発掘調査報告会
- 主催** (財)広島県教育事業団・広島県立歴史民俗資料館
- 日時** 平成21年2月28日(土) 13:00～16:30
- 会場** 広島県立歴史民俗資料館 研修室
- 内容** 報告・展示



報告会場風景(20年度)

## 河瀬正利先生の急逝を悼む

広島大学名誉教授の河瀬正利先生が平成20年6月14日、67歳で急逝されました。いつもの月初めの検査入院と聞いておりましたので、訃報を受けましたときは大変驚きました。まだまだ私たちが引っ張っていただきたいと考えていましただけに、誠に残念です。

先生には、財団法人広島県教育事業団の理事および埋蔵文化財調査指導委員として、事業団の運営にご尽力をいただきました。埋蔵文化財の調査指導は、財団法人広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室の前身である財団法人広島県埋蔵文化財調査センターにおいても昭和62年4月から調査指導委員をお願いしていましたので、合わせますと20年余りにもなります。

平成19年11月、庄原市口和町の稲干場古墳群と三次市吉舎町の下矢井南古墳群の発掘調査現場で、埋葬施設や出土遺物について熱心に指導していただきましたことなどが、昨日のことのように思い出されます。

長年にわたるご指導にお礼を申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

前埋蔵文化財調査室長 篠原芳秀



●写真左  
調査指導委員会議で談笑される河瀬先生  
(右から二人目 平成17年6月16日)

●写真左下  
三次市権現第1～3号古墳での調査指導  
(左から二人目)  
(平成17年10月4日)

●写真下  
三次市和知白鳥遺跡での調査指導  
(右から二人目 平成18年11月14日)





# 平成21年度発掘調査予定一覧



平成21年度の調査予定をお知らせします。  
遺跡見学会や報告会も随時開催しますので、ぜひ御参加ください。

番号	遺跡名	所在地	期間
1	ぜんせいひら 善正平1・2号遺跡	三次市甲奴町	4月13日～9月中旬
2	ふるだに 風呂谷遺跡・風呂谷古墳	三次市四捨貫町	4月13日～10月下旬
3	さんしげ 三重1号遺跡	三次市四捨貫町	4月13日～9月中旬
4	おか ただのはら 岡2号・只野原3号遺跡	庄原市高野町	4月13日～8月下旬
5	いたに 石谷2・3号遺跡	庄原市口和町	4月13日～6月中旬
6	はたけじり 畑尻遺跡	三次市三良坂町	4月13日～6月上旬
7	ごりょう 御領遺跡	福山市神辺町	6月下旬～9月中旬
8	ながはたやまきた 長畑山北第1～5号古墳	三次市吉舎町	6月下旬～12月中旬
9	すぎたに 杉谷遺跡	世羅郡世羅町	9月上旬～10月中旬
10	つねのうばら 常納原遺跡	庄原市西城町	10月中旬～12月下旬
11	はつかいちまちや 廿日市町屋跡	廿日市市廿日市	11月上旬～12月下旬

## 庄原市口和町曲第2号古墳出土の短甲の修復が終わりました



短甲  
出土状態

平成19年度に曲第2号古墳から出土した短甲(古墳時代の鉄製よろい)の修復が終わりました。

出土した際は、横長の鉄板を鋸で留めた横矧板鋸留短甲よこはざいたびょうどめたんこうと考えていましたが、修復の作業中、うしろどう後胴に三角の鉄板を使用していることが判明し、さんかくいたよこはざいたへいようびょうどめたんこう三角板横矧板併用鋸留短甲ということがわかりました。



短甲  
修復後

### (財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化調査室報 ひろしまの遺跡 第102号

発行日 平成21年(2009)年7月6日  
 編集 (財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室  
 〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目8番49号  
 TEL(082)295-5751  
 ホームページ <http://www.harc.or.jp>  
 E-mail [maibun@harc.or.jp](mailto:maibun@harc.or.jp)  
 発行 (財)広島県教育事業団  
 印刷 理研産業株式会社